

請負調査事業報告

和歌山商工会議所「商品モニタリング調査」

本調査は、和歌山商工会議所からの請負調査事業として実施されたものであり、調査の目的及び概要は下記の通りである。

小規模事業者が開発した自社商品が「いかに市場に受け入れられるか、消費者の目線は何を求めているか」を判断するためにも一般消費者を対象としたモニタリングは大変重要である。しかし、その分析手法や費用面において、個社独自に実施することは難しいため、本事業により合同でモニタリング調査を実施し、質・量・素材や販売価格、パッケージデザインなど、ユーザー目線での商品課題や販売促進のヒントに繋がるモニタリング調査を実施し、需要動向を把握することで、より消費者に受け入れられる商品化を図り売上増加に繋げることを目的とする。

調査概要については、第 68 回わかやま商工まつり（平成 28 年 10 月 8 日（土）～9 日（日））への来場者に本事業のモニターを依頼し、試供品を試食・試飲、体験することによって商品に対する率直な意見等を記載する調査票への記入方式により把握した。

調査は本機構事務局の下、外部の研究協力者によって実施された。会議については、平成 28 年度受託調査事業の全体会議と同時に実施され、計 2 回行なった。その他の事務局内の会議は随時実施された。

調査結果については、報告書としてまとめられた。

平成 29 年度事業³

■ 研究事業

● 和歌山都市圏総合交通計画研究Ⅳ

【研究趣旨と目的】

平成 26 年度より「和歌山都市圏総合交通計画の理想像を追求し交通まちづくりの理論的支柱たること」を目的として「和歌山都市圏総合交通計画研究会」を実施してきた。平成 27 年度には、研究機構の「持続可能なまちづくりを目指して～わかやま！LOHAS 2040～」を踏まえつつ、和歌山市の総合交通計画のあり方について研究を進め、理念の検討や達成度指標と数値目標の検討、目標達成のための施策パッケージの検討などを行ってきた。

平成 29 年度には、これまでの成果を踏まえて報告書を刊行するとともに、10 月の日本交通学会全国大会（和歌山大学で開催）にあわせ、同学会と共催でシンポジウム「地方都市のまちづくりと交通政策（仮称）」を開催したい。

³所属・肩書きは事業参加時点のものを参照。

【メンバー】

主査	辻本 勝久	和歌山大学経済学部教授
	藤田 和史	和歌山大学経済学部准教授
	永瀬 節治	和歌山大学観光学部准教授
	中西 望	和歌山社会経済研究所研究委員
	中井 敬明	和歌山社会経済研究所主任研究員
	中嶋 孝之	和歌山社会経済研究所研究員
	上野 美咲	和歌山大学経済学部特任助教
	上野山 裕士	和歌山大学観光学部特任助手

■刊行物

- 機関誌「地域経済」
- 報告書

■ホームページによる広報

URL: <http://www.eco.wakayama-u.ac.jp/wtkkk/>

理事メンバー

(平成 29 年 7 月 31 日現在)

【和歌山地域経済研究機構理事】

理事長	藤永 博	和歌山大学経済学部教授	経済学部長
副理事長	藤田 武弘	和歌山大学観光学部教授	観光学部長
理事	足立 基浩	和歌山大学経済学部教授	副学長・評議員
	廣岡 裕一	和歌山大学観光学部教授	
	藤本 拓司	和歌山社会経済研究所	副理事長
	草田 憲治	和歌山社会経済研究所	常務理事・事務局長
	野田 寛芳	和歌山商工会議所	専務理事